

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		農道整備事業						予算事業名		農道整備事業費						
予 算 科 目		会計	01	款 06	項 01	目 08	事業 20	要求区分 経常経費	根拠法令							
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 特色ある農業の振興と活性化 農村環境の保全						事業の区分		主要事業						
								担当課係等		農政課 農地整備係						
		事業期間		継続 (年度～ 年度)												
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
舗装整備を行うことで荷傷みを軽減し、農産物の品質低下を防ぐとともに、農村地域における生活環境の改善を図る。							農業生産基盤施設としての農道の整備を行い、農村地域の生活環境の改善を図るため。									
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】									
畑地や水田地帯の未舗装道路を舗装整備する。							畑地や水田地帯の未舗装の市道 農道周辺の農業従事者									
							【事業をとりまく環境の変化】 農道舗装整備に関する要望は例年増加傾向にあり、対応しきれていない状況にあるが、緊急性や利便性を精査し、年次計画において対応している。 また、近年の人件費及び材料費の高騰により設計工事費が高くなっており、計画延長が短くなる傾向にある。									
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】								
調査・境界確認・設計・整備				調査・境界確認・設計・整備				調査・境界確認・設計・整備								
■事業費																
				R03年度		R04年度										
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金			0		0										
	県 支 出 金			0		0										
	地 方 債			0		0										
	そ の 他			0		0										
	一 般 財 源			19,987		19,000										
歳 入 計 (千 円)				19,987		19,000										
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)			金額 (千 円)		金額 (千 円)										
	14 工事請負費			19,987		19,000										
歳 出 計 (千 円) (A)				19,987		19,000										
伸 び 率 (%)						-4.93										
備 考	総合計画85ページ 予算書134ページ															

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	舗装箇所	箇所	目標	4.00	4.00	0.00
			実績	4.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	舗装延長	k m	目標	18.90	19.40	19.90
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	農道を整備することにより、出荷物の荷傷みが軽減され、生産性が高まるとともに、農村地域の生活環境の向上が図られる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	当事業は公共道路である農村地域の市道の舗装整備であることから、市の事業として実施する必要がある。
	手段の妥当性	A 妥当である	整備する農道に状況に応じて、測量や設計業務を直営で行うか委託するかを適宜判断するとともに、農道の舗装整備に際しては、国が定めた基準に準じて実施している。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	現場測量や工事設計及び積算を職員が直営で行うことによって、コスト削減を図っている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	道路は公共施設であり誰でも利用できることから受益者の偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	毎年、4～5路線の舗装整備を実施しており、整備された路線や路線延長は増加しており、農村環境の向上に貢献している。
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	年次計画により舗装整備を行っているが、地元からの要望件数も多く、すべてに対応することが困難であるため、未整備路線も多く残されている。また、工事費の高騰により、整備延長が短くなってきている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
農道整備事業は計画的に行っており、その成果である整備延長は年々伸びている。しかし、未整備路線が数多く残っていることから地元要望に応えられるようコスト削減を図っていく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
農道整備は多くの地元要望があることから、今後も年次計画によって実施していくが、工事費の高騰により整備延長が短くなることが予想される。コスト削減にも限界があることから、財源確保も含めて検討していかなければならない。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☒ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 地元からの農道整備の要望が上がっているが、未整備の路線も多く残されているため、財政状況を勘案しながら計画的に進めていく。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。